

平成 24 年度

施設評価調書

施設の名称……中央公民館

所管担当課……教育委員会生涯学習課

平成 24 年 7 月

平成 24 年度

施設名（愛称名）	下田市立中央公民館
----------	-----------

番号	26
----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。					
運営事業名	H22 年値	H23 年目標値	H23 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	62 人	80 人	18 人	29.03 %	22.5%	E
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	21,519 人	26,700 人	18,366 人	85.35%	68.79%	C
設置目的に対する総合評価						
目的達成度の 評価基準	① 参加者数*実施数（複数講座がある場合は全講座の合計） ② 利用者合計人数 評価：目標達成率 A100%以上、B100%未満 80%以上、C80%未満 60%以上、D60%未満 40%以上、E40%未満					

2 現状分析(Check)

運営事業の 意義と現状	市の厳しい財政状況の中、限られた予算内で公民館講座を企画した。講座参加者については、前年度に比べ減少し、全体の公民館利用者数に比較すると、数にかなり大きな幅がある。 全体の公民館利用者数については、前年度の 7 割程度にとどまった。
上記の原因	兼ねてより市民ニーズのあったお菓子教室について、市民の協力を得て「親子和菓子教室」として開催し、余暇活動の活性化、親子・世代間等のコミュニケーション推進、地域の社会教育の向上の育成を図り、市民ニーズに応える事業実施の一歩となった。 全体の公民館利用者数については、東日本大震災の影響により、震災直後の団体活動の自粛や公民館全館の利用制限、また 7 - 9 月までの 3 カ月間の全館の利用制限の下で、目標の 7 割にとどまり、前年度の 85%と、悪条件の下では比較的団体活動の縮小化は最小限にとどめられた。

3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な 改善方策	アンケートの結果を反映し、今年度も引き続き市民の協力を得て「親子和菓子教室」を開催する。特に、実施後の公民館講座の周知・広報を強化し、受講者以外の他の市民に向けた公民館活動の情報提供・啓発に取り組み、公民館講座の活性化を図る。 引き続き、受講者アンケート等により、中央公民館が、統廃合により将来的に生涯学習活動の推進を図る下田市の拠点施設となることを見据え、今後の在り方を考察し、社会教育委員会、公民館運営審議会等に諮問し、方向性を見出していきたい。		
H24 年度運営 事業と目標値	運営事業名	H24 年度目標値	備考
	③ 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	80 人	会場収容人数
	④ 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	26,700 人	前年度維持 21,519≒22,000 人

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運営事業名	H 年度	H 年度	H 年度	H 年度
総合評価				

平成 24 年度

施設名（愛称名）	下田市立中央公民館
----------	-----------

番号	26
----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H22 年度値	H23 年目標値	H23 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	21,519 人	26,700 人	18,366 人	85.35%	68.79%
	B 年間経費 (除く収入) 経費+市職人件費	4,649,456 円	—	3,519,349 円	75.70%	—
	B/A	216 円/人	220 円/人	192 円/人	88.89%	87.27%
③	光熱水費	1,856,581 円	1,578,000 円	1,733,203 円	93.35%	109.84%
④	消耗品費	112,765 円	113,000 円	240,509 円	213.28%	212.84%
効率性指標の考え方等		A 利用者数：公民館利用者人数 B 年間経費：市の経費総額と事務に係る人件費（職員人件費÷職員数）*1/20 人工 目標値：直近の最大数値（100 人未満切捨て、1,000 円未満切捨て）				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 状 現	<p>年間経費については、施設総利用者数の減少幅を上回る削減となったが、高熱水費については、利用者数の減少幅には及ばない削減となっており、数値としては節約への取り組みの成果があまりみられないが、震災の影響により電気使用量の削減に応じた使用料の削減にはつながらなかったことを考慮すると、使用量の削減はみられるので節約への取り組み効果はあったものとする。また、消耗品費については、会議室機の購入により、2 倍低度の増額となった。</p>
----------------	--

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	光熱水費の削減に向け、節電・節約に仕組み、利用者への声掛け等の協力依頼や掲示物等により節電・節約の周知徹底を図る。		
H24 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	190 円/人	前年度実績維持 192 円/人 ≒ 190 円/人
	②光熱水費	1,646,000 円	前年度実績の 5% 削減 1,646,543 円 ≒ 1,646,000 円
	③消耗品費	113,000 円	前々年度実績 112,765 円 ≒ 113,000 円

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H20 年度決算	H21 年度決算	H22 年度決算
①利用単位当たり 経費	目標値（人）	26,700 人	26,700 人	26,700 人
	A 実績値	22,965 人	23,269 人	21,519 人
	B 実績値	3,936,051 円	4,145,057 円	4,649,456 円
	B/A	171.39 円/人	178.14 円/人	216.06 円/人
	対前年比（B/A）	93.03%	103.94%	121.29%
	目標達成率（人）	86.01%	87.15%	80.60%
②光熱水費	目標値	1,969,000 円	2,013,000 円	2,013,000 円
	実績値	2,119,981 円	1,700,705 円	1,856,581 円
	対前年比	102.24%	80.22%	109.17%
	目標達成率	107.67%	84.49%	92.23%
③消耗品費	目標値	252,000 円	252,000 円	252,000 円
	実績値	204,284 円	124,309 円	112,765 円
	対前年比	137.66%	60.85%	90.71%
	目標達成率	81.07%	49.33%	44.75%

平成 24 年度

施設名（愛称名）	下田市立中央公民館
----------	-----------

番号	26
----	----

4 その他の指標

	区 分	説 明	単位	H21 年度	H22 年度	H23 年度
受益者負担 の適正性	①有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部分 の年間経費	円	4,145,057	5,400,736	4,223,729
	②受益者負担 額	施設の本来の目的による 使用料等の年間総額	円	887,200	751,280	704,380
	③受益者負担 比率	②÷①	%	21.50	13.91	16.68
	④補正受益者 負担額	減免者より正規の料金を 徴収したと仮定した場合 の受益者負担額	円	2,595,000	2,344,000	2,455,000
	⑤補正受益者 負担比率	④÷①	%	62.61	43.40	58.12

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度(予算)
	人口（4月1日：人）		25,549	25,224	24,515	—
	人口 1 人あ たり(円/人)	運営経費（収入除く）	128	185	144	—
年間総経費		269	328	291	—	

平成 24 年度

施設名（愛称名） 下田市立中央公民館

番号 26

利用者満足度調査

※アンケート実施無し。但し、予約受付時、使用后、館長会議等にて、意見聴取している。

施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
23	防水コンセント取替え修繕	4,620	23	
23	受変電室修繕	299,250	23	
23	外壁修繕	388,500	23	
23	管理人室照明器具取替え修繕	3,990	23	
23	空調室外機修繕	5,250	23	
23	消防設備不良箇所修繕	119,700	23	
23	小・中会議室照明器具修繕	61,425	23	
23	管理人室水道蛇口修繕	9,555	23	
※今後想定される維持管理事項 敷地内外部排水路、ブロック塀修繕、屋根雨漏り、屋上キュービクル防水対策等				

平成 24 年度	施設名（愛称名）	下田市立中央公民館	番号	26
----------	----------	-----------	----	----

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	市の総合計画における公民館統廃合事業として、市内 9 公民館（板戸、落合、八木山は地元区へ無償譲渡済）の中央公民館 1 館への統廃合を進めており、中央公民館は、将来的に下田市の実情にみあった生涯学習施設の拠点として存続させる施設という位置づけにある。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	社会教育法に基づく公民館として、行政関与は妥当である。また、建物の規模、老朽化・劣化も著しく修繕の必要度が著しく高い。修繕費が嵩む中で、利益を追求しないという施設の性質からも、民間による管理運営は難しい。貸館窓口業務については、民間の可能性もあるが、公民館講座事業等の運営等もあり、総じて、行政の管理運営が妥当である。
施設の管理運営と経費の妥当性	築 23 年と建物の老朽化・劣化が著しく、修繕の必要度が年々増す中で、市の厳しい財政状況の中、可能な限り、必要最低限、使用に耐え得るまでに修繕を施し運営している状況にある。また、備品の劣化等利用者には不便をきたしている中で、緊急を要するものから順に、必要最低限の対応で運営している状況にある。
施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性	施設の設置目的と老朽度からは、妥当な範疇の負担に思われる。
その他の管理運営上の課題	施設の老朽化・劣化が著しく、修繕では対応が難しい状態にあり、改修も検討したいが、市の財政状態からは難しい状況である。 統廃合により将来的に市の生涯学習施設の拠点として、中央公民館としての在り方、果たすべき役割について考察することが課題である。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	県内では、公民館を廃止し、代替施設として生涯学習センターの設置・整備等が傾向にある。社会教育法による公民館 9 館の設置は、県内においても多い設置数である。

平成 23 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
⑤ 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	「親子和菓子づくり教室」を開催し、18名の参加があった。	住民ニーズを反映した幅広い対象の講座の企画。また講座実施後の報告・広報を強化し、公民館活動を啓発する。
⑥ 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	1,398回、18,366人の利用があった。	社会教育関係団体・ボランティア活動団体等の活動活性化を図るため、公民館利用についての情報発信を強化する。

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市立中央公民館

番号 26

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立中央公民館		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係					
3 所在地	下田市4丁目6番16号		4 設置年月	昭和63年4月1日					
5 総合計画の位置付け	Ⅱ人が輝くまちづくり		(1) 自ら学ぶ人づくり		生涯学習				
	基本目標		いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。						
	基本目標を実現するための施策		項目 ・公民館講座 ・公民館統廃合		内容 ・公民館講座の開設 ・地域の実情に見合った公民館の再編を図ります。				
6 設置目的	社会教育法第20条の目的を達成するため 第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
7 設置根拠	下田市立公民館設置管理条例								
8 施設の概要	施設の概要		敷地面積 1,453.71 m ² 建物面積 1,117.89 m ² 構造 鉄筋コンクリート2階建て						
	実施事業の概要		・中央公民館講座の実施 ・市民大学講座の実施 ・その他「社会教育法第22条(公民館の事業)」に基づくもの						
料金体系	料金区分	会議室等使用料 多目的ホール兼大会議室・中会議室・小会議室・和室・調理室							
		主な料金	名称	使用単位	午前(9:00~12:00)		昼間(13:00~17:00)		夜間(18:00~21:00)
	普通				入場料	普通	入場料	普通	入場料
	多目的ホール兼大会議室		一回につき	2,000円	4,000円	2,000円	4,000円	3,000円	6,000円
	中会議室			1,000円	2,000円	1,000円	2,000円	2,000円	4,000円
	小会議室			1,000円	2,000円	1,000円	2,000円	2,000円	4,000円
和室	1,000円	2,000円		1,000円	2,000円	2,000円	4,000円		
調理室	2,000円	-		2,000円	-	3,000円	-		
減免内容	(使用料の免除) 第10条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。(全額) (2) 公共的団体の主催で法第20条の目的に基づき住民のために使用するとき、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用するとき。(全額) (3) 公立小・中学校(市内の公立小・中学校を除く。)若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用するとき。(5割減額) (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用するとき。(3割減額) (5) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。(3割減額)								
	利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
施設運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営								
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →		指定管理者						

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市立中央公民館

番号 26

		<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容				
	直接従事職員	下田市職員数 館長 1 名 (生涯学習課長兼任) 常駐管理人 1 名					
9 市内の類似施設	下田市所有	他 8 公民館 (社会教育法の規定による施設)					
	民間所有	地区集会所等 (自治会管理の地域コミュニティ施設)					
10 取得費等の情報 (単位: 円)	取得費及び財源内訳		平成 22 年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 1 円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 50 年 ・ 建物経過年数 23 年		
	土地取得費		土地残高				
	建物取得費	181,059 千円	建物減価償却後残高	97,772 千円			
	財源内訳						
	国・県支出金						
	市債		市債残高	0			
	一般財源						
	寄附金等						
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
	※中央公民館は県で保健所として使用していたものを、市で譲受け公民館として使用しているが、県より譲渡された当初の資料の所在が不明なため土地取得費等は不明。						
11 年間経費等推移 (単位: 円)	区 分		H21 年度決算	H22 年度決算	H23 年度決算	H24 年度予算 (9 公民館)	
	収入		887,200	751,820	704,380	1,921,000	
	収入合計		887,200	751,820	704,380	1,921,000	
	支出	1 節 報酬		0	2,546	1,819	1,328,000
		7 節 賃金		424,700	424,700	424,700	1,699,000
		8 節 報償費		14,000	20,000	0	334,000
		9 節 旅費		6,546	9,647	3,536	60,000
		11 節 需用費		2,751,555	3,998,052	2,962,119	6,533,000
		消耗品費		124,309	112,765	240,509	398,000
		印刷製本費		0	0	0	10,000
		光熱水費		1,700,705	1,856,581	1,733,203	5,058,000
		下水道費		99,949	101,430	96,117	150,000
		燃料費		0	1,061	0	33,000
		修繕料		826,592	1,926,215	892,290	884,000
		12 節 役務費		353,191	334,954	324,257	952,000
		13 節 委託料		382,247	376,975	313,150	839,000
		14 節 使用料		32,736	32,909	32,955	200,000
		19 節 負担金		13,558	28,039	14,011	74,000
	支出合計		3,978,533	5,227,822	4,076,547	12,019,000	
	減価償却費		3,621,180	3,621,180	3,621,180	11,649,200	
	市債利子		0	0	0	0	
	職員人件費		166,524	172,914	147,182	1,352,772	
	下田市負担年間総経費		6,879,037	8,270,636	7,140,529	23,099,972	
備考	○ 人件費は、1 公民館を 1/20 人工として、職員人件費平均から算出したもの ○ 事務に係る市職人件費=(職員人件費÷職員数)×1/20 人工×公民館数						
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H21 年度決算	H22 年度決算	H23 年度決算	H24 年度予算	
		利用者数	市内	23,269 人	21,519 人	18,366 人	人
			市外			人	人
			合計	23,269 人	21,519 人	18,366 人	人

平成 24 年度

施設名（愛称名）	下田市立中央公民館
----------	-----------

番号	26
----	----

		参考：利用単位	295.63 円/人	384.34 円/人	291.27 円/人	円/人
		当たり市負担額	算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数			
	休館日	祝日、12/28 から 1/3 まで				
	使用時間	午前 9 時から午後 9 時まで				

(参考資料)